

ハンディキャップセミナー・障がいをもつ方のためのスキー教室 活動報告

2009年9月
ハンディキャップ委員会

これまでのハンディキャップ委員会の活動の中で、どのような支援が必要なのか、その正しい援助方法を学んでいくことが必要と考え、「ハンディキャップセミナー（Ⅰ障がい者のサポート / Ⅱ 雪上でのサポート・指導実践）」に取り組んでまいりました。毎回NPO 法人日本プレジャーサポート協会理事長の馬場賢親氏を講師にお迎えし、より相手の立場に立っての支援へと理解を深めました。また雪上の実践として「障がいをもつ方のためのスキー教室」（1月白馬五竜、3月車山）を開催いたしました。参加者の皆様からは「参加して良かった」との喜びの声を頂きました。また鹿沢チャレンジカップへのサポートにも参加いたしました。これらの活動はまだまだ発展途上です。よりよい活動となるよう前進して行きたいと思っております。

◎ハンディキャップセミナー

Ⅰ.障がい者のサポートについて：2008年11月23日（日）神奈川県立三ツ沢スポーツ会館

Ⅱ.雪上でのサポート・指導実践：2009年1月23日（金）白馬五竜スキー場

PSA 理事長の馬場賢親氏を講師にお迎えし、セミナーⅠでは、障がいの理解（座学）に加え、知的障がいについてを中心に学び、セミナーⅡでは、雪上でのサポート、疑似体験(補助具を使ったスキー指導方法など)を、実践的に取り組みました。



◎ 障がいをもつ方のためのスキー教室

・第13回 2009年1月24日(土)～25日(日)：白馬五竜スキー場

・第14回 2009年3月27日(金)～29日(日)：車山高原スキー場

白馬五竜でのスキー教室は、23名の参加者(付添いを含む)と、ボランティアを含め総勢41名、車山高原でのスキー教室では、現地集合と宿泊を伴うバスツアーを含め参加者50名、ボランティアを含め総勢91名という大所帯でした。今年も「みんな1つ屋根の下に！」と、大会本部のあるスカイパークホテルを宿泊場所としました。開会式では、研修会・クリニック参加者やボランティア、スキー学校・スキー場関係者の方々のご協力を頂いて、車椅子の方々も2階に移動することができました。これはこの活動が、さまざまな方々の力添えがあってこそ、はじめてなすことができる事なのだということを、あらためて深く感じた象徴的な瞬間でした。この場をおかりし深く感謝申し上げます。